

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		担当部課	部課コード	060300	TEL	2998-9116
事業コード	外出援助事業	障害福祉課				
060302	開始年度		昭和51	年度	終了年度	年度
		グループ		福祉サービスグループ		

事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市障害者支援計画			所沢市重度心身障害者福祉タクシー等使用料金補助要綱、所沢市重度障害者等自動車ガソリン費補助要綱
	関連・類似事業	身体障害者自動車運転免許取得費補助事業、身体障害者自動車改造費補助事業 (障害福祉課)			
	総合計画の体系	章 健康・福祉	節 障害者福祉	基本方針	社会参加の促進
事業開始の背景	重度障害者の経済的負担の軽減を目的に、昭和51年にガソリン費補助制度を開始した。また、重度障害者の社会参加促進を目的に昭和52年にタクシー使用料金補助制度を開始した。なお、平成15年度より、ガソリン費補助制度対象者をタクシー使用料金補助制度対象者と同じ範囲に拡大し、両制度については利用者の選択制とした。				

事業の内容	目的 (どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)					
	重度心身障害者等の社会参加の促進と経済的負担の軽減					
	対象 (誰を、何を対象としているのか)		対象数	単位	平成 26 年度	人
	重度心身障害者 (身体障害者手帳1・2級の所持者、下肢・体幹障害3級の者、療育手帳マルA・Aの所持者)				平成 27 年度	5,822 人
事業の具体的な内容及び実施方法						
タクシー使用料金及びガソリン費に対する補助 ・対象者からの申請に基づき、福祉タクシー使用料金補助又はガソリン費補助の認定を行う。 ・タクシー使用料金については、認定者が使用したタクシー券を基にタクシー事業者より申請を受け、初乗り料金分と手数料 (一乗車につき100円) を支払う。 ・ガソリン費については、認定者からの請求を受け、補助金 (月額上限3,000円または1,500円) を支払う。						

会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
予算現額		95,389	97,421	96,880
決算 (見込み含む)		90,200	87,993	
(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)		(0.00 人)	(0.83 人)	(1.03 人)
正規職員人件費		1.16 人	10,116	25,114
事業費合計		100,316	113,107	
財源内訳	一般財源	100,316	113,107	96,880
	国・県支出金			
	その他 ()			

「財源内訳」について
平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
				活動実績	タクシー使用料金補助認定者数	実績による	人
	ガソリン費補助制度認定者数	実績による	人	2,116	2,109	2,371	2,400

成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
				成果指標	対象者に占める利用者の割合	利用者 ÷ 対象者 × 100	%	目標値
				実績	83	82	<input checked="" type="checkbox"/> 実績を拡大図る <input type="checkbox"/> 実績を縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	83	82	どちらかをチェックしてください	

改善点	(1)平成27年度中に改善した点 (改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	ガソリン費補助において、申請書・請求書等の様式の変更を行い、申請・請求時の事務負担が軽減された。タクシー補助では、台帳とシステムを連携させ、認定者の異動の把握や、郵送時の誤配の減少につながった。	対象者数・利用者数とも大きな変動はないが、施設入所や長期入院で補助対象外となる者があるため。

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	方向性の	事業実施方法 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	在宅の重度障害者の外出援助として要望の高い事業であるため、制度の見直しを行いつつ継続して支援を行う必要があるため。
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	対象者は増加しており、今後も一定の利用者が見込まれるため。	
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性		
	施設入所や長期入院等により補助対象外となる者を早期に把握し、補助金の過払いが無いようにしている。			タクシー券の補助金額、交付枚数の見直しや不正利用防止策を検討する。		
評価日	平成28年 8月 9日		評価者職氏名	障害福祉課長 並木 和人		

環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	文書等の作成	規制を受ける環境法令等	無
					緊急事態	無